



# 2020年1月 MSCニュースレター

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

# 目次



## マーケット情報

- イオンリテール（株）がマルト水産のMSCラベル付きカキの販売開始 ..... P. 4
- 日本水産（株） 2020年春・夏の新商品・リニューアル品を発表 ..... P. 5
- 今年も販売 イオンリテール（株）MSCエコラベル付き海鮮巻 ..... P. 6

## 漁業情報

- ペイプシ湖のヨーロピアンパーチ・パイクパーチ漁がMSC認証を取得 ..... P. 8
- イギリスのヨーロッパエビジャコ漁がMSC認証を取得 ..... P. 9
- 北米のキタノホッケを含む底びき網漁がMSC認証を取得..... P. 10
- エストニアのニシン・スプラット漁業がMSC認証を取得..... P. 11
- 尾鷲物産がマグロはえ縄漁業でMSC漁業認証の審査入り..... P. 12

## 広報活動

- マルト水産 MSC漁業認証の授与式を開催 ..... P. 14
- 共立女子大学 林田ゼミ MSC PRポスター&アニメーション発表 ..... P. 15

- MSC認証取得状況 ..... P. 16

# マーケット情報



# イオンリテール(株)がマルト水産のMSCラベル付きカキの販売開始



2020年1月21日

イオンリテール株式会社が、MSC認証の新製品の取り扱いを開始しました。

製品は昨年12月、垂下式のカキ漁としては世界で初めてMSCの漁業認証を取得した株式会社マルト水産の、「岡山県邑久町虫明産生かき(生食用)」です。パッケージにはMSC認証を取得した持続可能な漁業で生産された製品であることを示す、MSCのエコラベルが表示されています。

本製品は、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、岡山県のイオン・イオンスタイルの54店舗で販売されています。

イオンは2006年より、MSC認証水産物の取り扱いを開始し、現在は今回のカキを含め計25魚種、43品目を販売しており、取り扱いを拡大しています。

イオンリテール(株)リリース：[https://www.aeonretail.jp/pdf/200121R\\_2.pdf](https://www.aeonretail.jp/pdf/200121R_2.pdf)  
MSCプレスリリース：[マルト水産が瀬戸内海のカキ漁業でMSC認証を取得](#)



MSCエコラベル付き  
「岡山県邑久町虫明産生かき(生食用)」



店頭の様子(イオンスタイル品川シーサイド)

# 日本水産(株) 2020年春・夏の新商品・リニューアル品を発表



2020年1月28日

日本水産株式会社が、2020年春・夏の新商品・リニューアル品を発表しました。

新商品として、人気商材であるMSC認証「おさかなミンチ」を使用した料理キット「おさかなミンチを使った麻婆豆腐」と、「おさかなミンチを使った青椒肉絲風」が紹介されています。

「おさかなミンチを使った麻婆豆腐」は、おさかなミンチの他、豆腐・ねぎの入った袋とソースがセットになっており、「おさかなミンチを使った青椒肉絲風」は、たけのこ・ピーマン・赤ピーマンの入った袋と、ソースがセットになっています。

両製品のミンチには、アラスカ産のMSC認証のスケトウダラが100%使用されており、MSCラベル付きで4月1日から販売される予定です。

日本水産(株) 2020年春・夏新商品について: <http://www.nissui.co.jp/news/20200128.html>

日本水産(株) おさかなミンチについて: <http://www.sokkin-tanpaku.jp/reason/>



「おさかなミンチを使った麻婆豆腐」



「おさかなミンチを使った青椒肉絲風」

# 今年も販売 イオンリテール(株)MSCエコラベル付き海鮮巻



2020年2月3日

イオンリテール株式会社は、節分にあわせ、今年もMSC認証の水産物を使用した「サスティナブルな魚の海鮮巻(海の恵)」を販売しました。

本製品には、MSC認証のキハダマグロのたたきと、ビンナガマグロが使用されており、パッケージには持続可能な漁業で獲られた水産物であることを示す、MSC「海のエコラベル」が表示されています。

他にも、ASC認証のアトランティックサーモン、きゅうり、大葉が具材として使用されました。

この「サスティナブルな魚の海鮮巻(海の恵)」は、2月3日(月)限定で、150店舗(※東北を除く)のイオンリテール魚屋の鮓売り場で販売されました。



MSC認証キハダマグロのたたき、MSC認証ビンナガマグロと、ASC認証アトランティックサーモンを使用した海鮮巻(海の恵)

# 漁業情報



# ペイプシ湖のヨーロッパパーチ・パイクパーチ漁がMSC認証を取得



2020年1月13日

ロシアとエストニアの国境に位置するペイプシ湖で新たにMSC認証漁業が誕生しました。認証の対象となるのは、申請者であるAS Japs 社と契約した漁業者が漁獲するヨーロッパパーチとパイクパーチです。漁法は刺し網と筒状および袋状の仕掛け網で、年間の漁獲量は845t (2018)です。

ロシアの漁業者によって水揚げされた魚はPskovshchina's Fish社を介して、また、エストニアの漁業者によって水揚げされた魚は直接AS Japs 社の加工場に運ばれ加工されます。

審査は独立した第三者審査機関のMarine certification 社によって行われ、資源状態、漁業による環境への影響、漁業の管理システムが検証された結果、この漁業が持続可能であることが証明されました。ただし、資源評価の質の向上や水鳥などの絶滅危惧種の管理など、さらなる改善にむけたいくつかの条件が付与されました。

詳しくはMSCのウェブサイトをご覧ください。

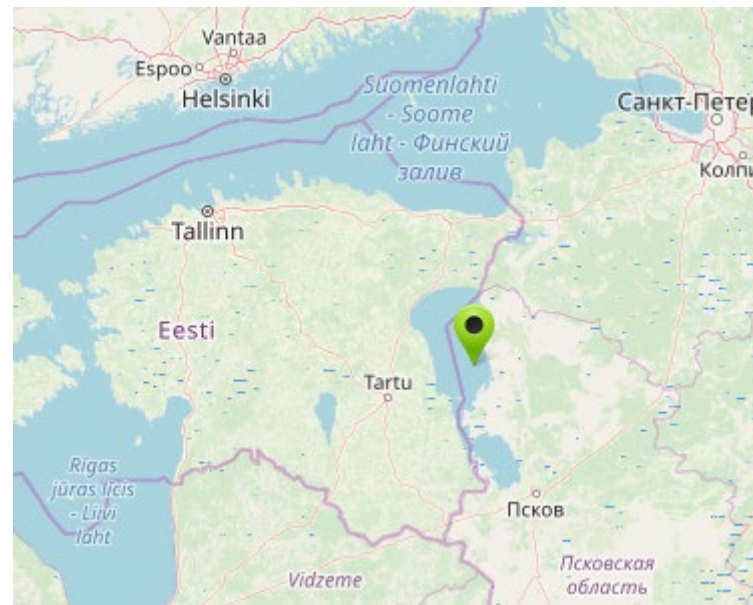
[Russian and Estonian Lake Peipus perch and pike-perch](#) (英語のみ)



パイクパーチ

英名Pike perch (*Sander lucioperca*)

画像提供 FAO



認証漁業の操業海域



# イギリスのヨーロッパエビジャコ漁がMSC認証を取得



2020年1月20日

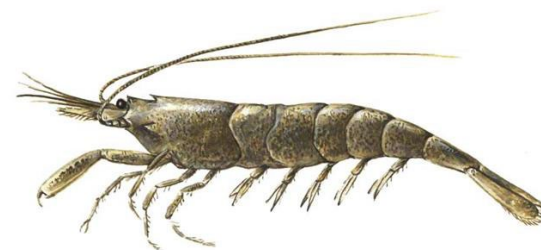
イギリスのヨーロッパエビジャコ漁が新たにMSC認証を取得しました。この漁業の漁法は底びき網で、年間の漁獲量は1,102t (2018)でした。

申請者である Shrimp Producers Organisation 社は2つの加工会社によって設立され、認証審査に向けた改善段階から漁業をリードしてきました。認証の対象となるヨーロッパエビジャコは Shrimp Producers Organisation 社の運営する船で漁獲され、Lynn Shellfish 社、または John Lake Shellfish 社に出荷されたものに限られます。

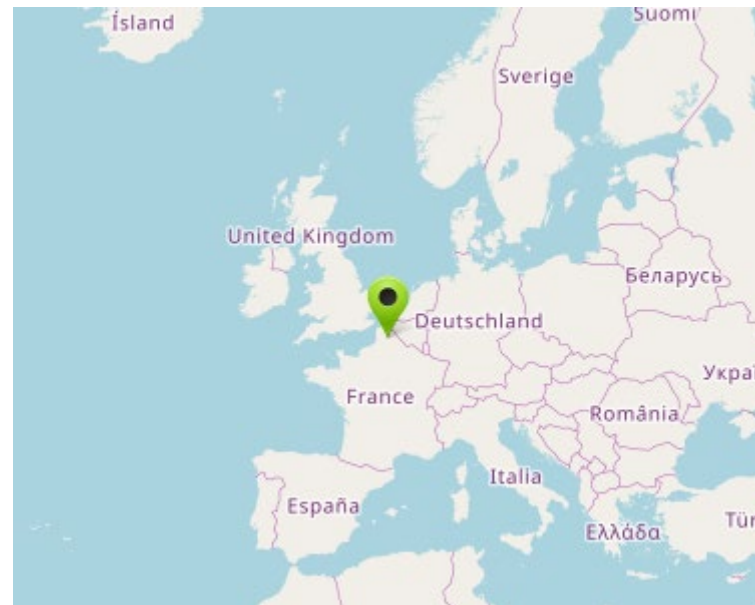
審査は独立した第三者審査機関の Lloyds Register (Acoura) 社によって行われ、資源状態、漁業による環境への影響、漁業の管理システムが検証された結果、この漁業が持続可能であることが証明されました。

詳しくはMSCのウェブサイトをご覧ください。

[Wash Brown Shrimp](#) (英語のみ)



ヨーロッパエビジャコ  
英名Common shrimp (*Crangon crangon*)



認証漁業の操業海域

# 北米のキタノホッケを含む底びき網漁がMSC認証を取得



2020年1月20日

ベーリング海、アラスカ湾の底びき網漁がMSC認証を取得しました。魚種と海域の組み合わせは下表の通りです。年間の漁獲量は140,895t (2018) でした。アラスカメヌケ以外は初のMSC認証取得となります。

対象となるのは認証報告書に記載される5社から販売される漁獲物及び一次加工品です。今回の漁業認証は洋上での加工までが対象となり、運搬船への転載または陸揚げから先の工程はCoC認証が求められます。

審査は独立した第三者審査機関の MRAG Americas 社によって行われ、資源状態、漁業による環境への影響、漁業の管理システムが検証された結果、この漁業が持続可能であることが証明されました。

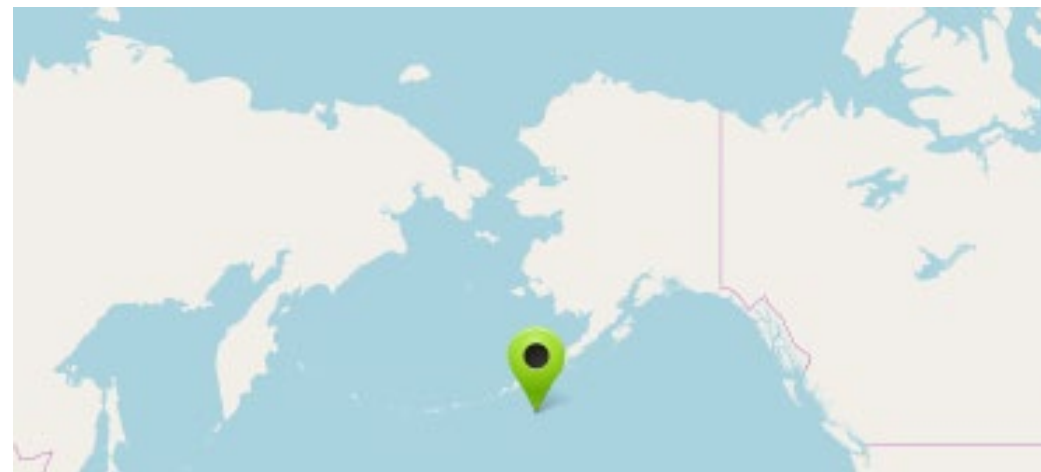
海域	魚種
ベーリング海	キタノホッケ、アラスカメヌケ、ノーザンロックフィッシュ
アラスカ湾	アラスカメヌケ、ノーザンロックフィッシュ、ダスキーロックフィッシュ



(左)キタノホッケ Atka Mackerel (*Pleurogrammus monopterygius*)



(右)アラスカメヌケ Pacific Ocean Perch (*Sebastes alutus*)



認証漁業の操業海域

詳しくはMSCのウェブサイトをご覧ください。[Aleutian Islands and Bering Sea Atka mackerel, Pacific Ocean perch, and northern rockfish and Gulf of Alaska Pacific Ocean perch, northern rockfish, and dusky rockfish](#) (英語のみ)

# エストニアのニシン・スプラット漁業がMSC認証を取得



2020年1月23日

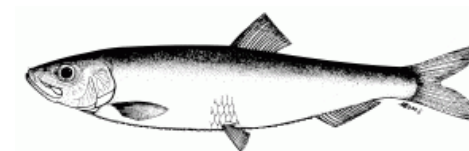
エストニアのリガ湾で操業するニシン・スプラット漁業がMSC認証を取得しました。この漁業の漁法はひき網で、年間の漁獲量はニシン6,621t (2018)、スプラット925t (2018)です。

申請者は Latvian Fishermen Producer's Organization に所属する5つの漁業会社からなるグループです。この認証の対象となるのは、報告書内の船舶リストに掲載された船舶によって漁獲され、Skulte、Roja、Ventspils、Mesragsのいずれかの港で水揚げされたニシンとスプラットです。

審査は独立した第三者審査機関であるBureau Veritas Certification 社によって行われ、資源状態、漁業による環境への影響、漁業の管理システムが検証された結果、この漁業が持続可能であることが証明されました。ただし、漁獲制御ルール適用や、絶滅危惧種への定量的な影響評価についてなど、いくつかの改善条件が付与されました。

詳しくはMSCのウェブサイトをご覧ください。

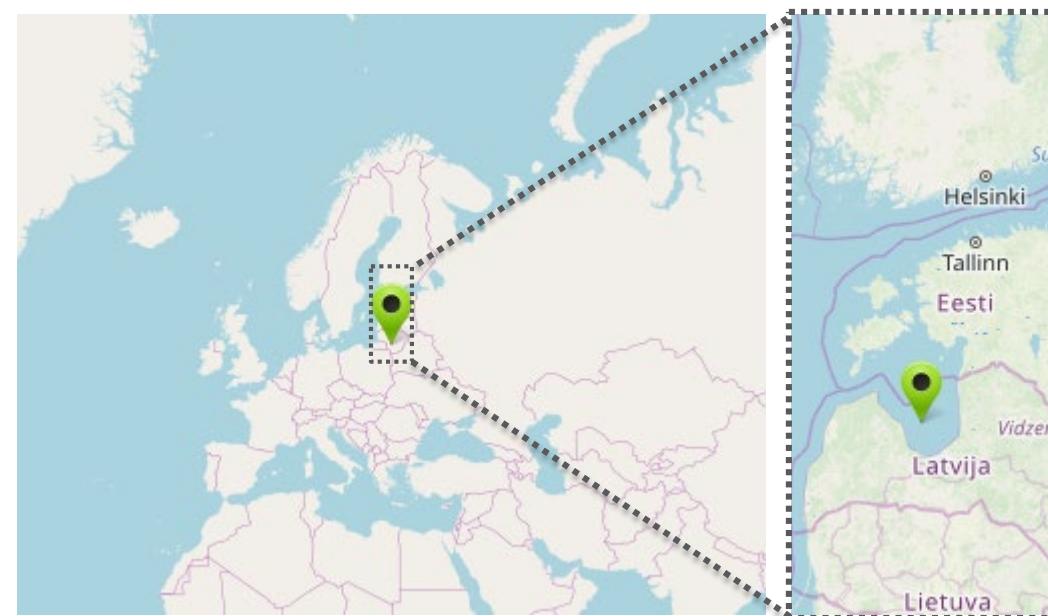
[NZRO Gulf of Riga herring and sprat trawl fishery](#) (英語のみ)



画像提供 NOAA Fisheries , FAO

(左) ニシン Herring (*Clupea harengus*)

(右) スプラット European sprat (*Sprattus sprattus*)



認証漁業の操業海域

# 尾鷲物産がマグロはえ縄漁業でMSC漁業認証の審査入り

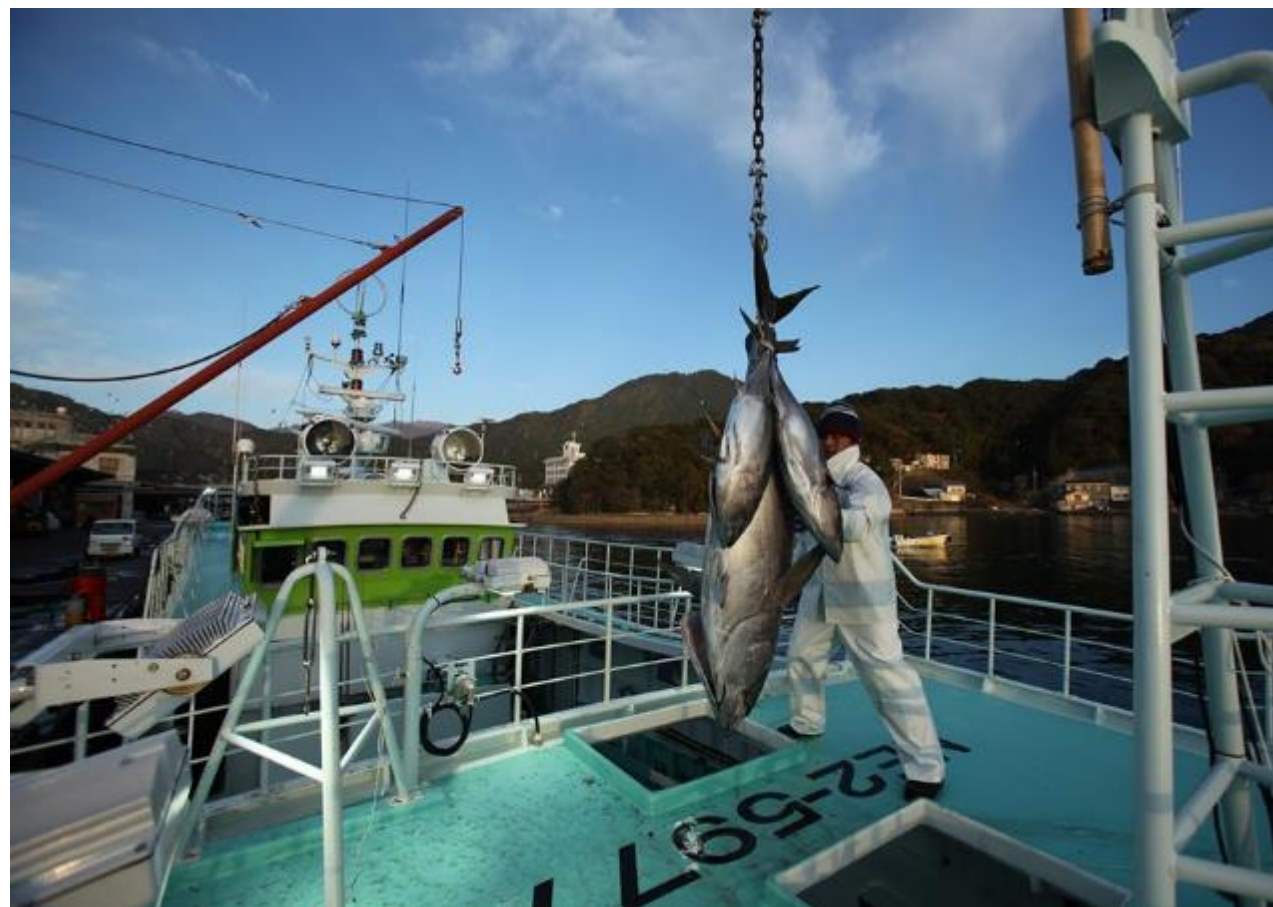


2020年1月24日

三重県の尾鷲物産株式会社が、キハダマグロ・ビンナガマグロ・メバチマグロの近海はえ縄漁業でMSC漁業認証の本審査に入りました。今回の審査対象となるのは、尾鷲物産が所有する「良栄丸」「第十一良栄丸」によって漁獲されるキハダマグロ、ビンナガマグロ、メバチマグロで、2018年の漁獲量は約250tでした。

尾鷲物産は養殖と漁船漁業の両方を営んでおり、マグロの水揚げが減少する尾鷲の再興を目指した新しい取り組みとして、2013年に「良栄丸」を、2017年に「第十一良栄丸」を新造船しました。

審査はMSCの漁業認証規格に則って、独立した機関であるSCS Global Services 社によって行われており、現在アナウンスコメント用報告書案に対する、ステークホルダーのコメントを受け付けています。



画像提供: 尾鷲物産株式会社

詳しくはMSCのウェブサイトをご覧ください。

[Owasebussan Co. Ltd. North Pacific Longline Tuna Fishery for Albacore, Yellowfin Tuna & Bigeye Tuna](#) (英語のみ)

# 広報活動

# マルト水産 MSC漁業認証の授与式を開催



2020年1月20日

昨年12月に邑久町漁協（岡山県瀬戸内市）のカキ漁業でMSC漁業認証を取得した株式会社マルト水産が、MSC認証の授与式を開催しました。

MSCアジア・太平洋地域ディレクターのパトリック・カレオと、MSC日本事務所プログラム・ディレクターの石井が出席し、マルト水産の小久保社長と邑久町漁協の松本組合長へ、認定証などを授与しました。

カレオは次のように祝辞を述べました。「持続可能なカキ漁に向けて取り組んできたマルト水産様と邑久町漁協様に心からお祝いを申し上げます。今回の認証取得により、水産業の盛んな瀬戸内海で持続可能な漁業の重要性が広まり、更なるMSC認証取得に繋がることを期待しています」

MSCラベルの  
パネルと認定証  
を授与



左より、MSCアジア・太平洋地域ディレクターのパトリック・カレオ、MSC日本事務所プログラム・ディレクターの石井、邑久町漁協の松本組合長、マルト水産の小久保社長

授与式終了後には懇親会が行われ、MSC認証を取得した邑久町のカキが振る舞われた

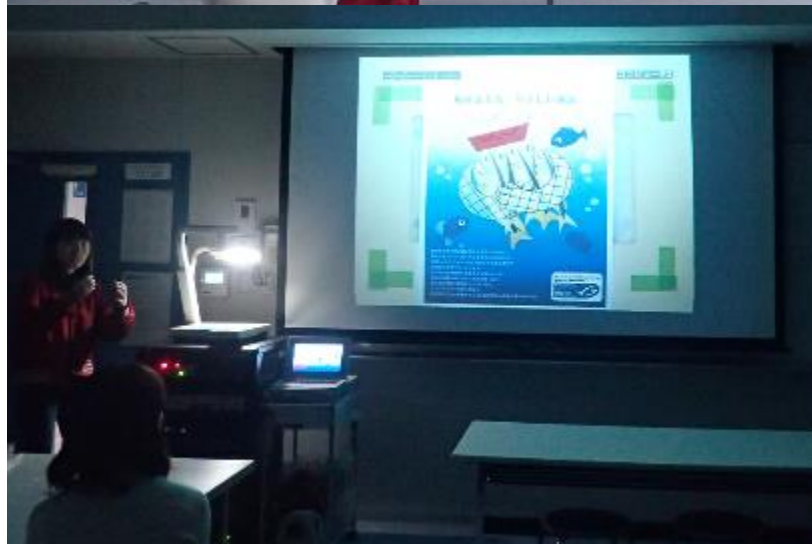


2020年1月31日

共立女子大学 家政学部 建築・デザイン学科 デザインコース 林田ゼミの学生によるMSC「海のエコラベル」のPRポスター・アニメーションの発表が、共立女子大学にて行われました。

9名の学生は、それぞれMSC認証のカツオ、スケトウダラ、カラフトシシャモを題材にしたポスターとアニメーションを制作しました。

林田ゼミとイオン、MSCの3者によるコラボレーションとなる本企画は2012年度より始まり、2019年度で8年目になります。



# MSC認証取得状況(2020年1月31日時点)



## ●MSC漁業認証 取得漁業数

世界・・・**397件**(362件)／日本国内・・・**6件**(4件)

## ●MSC漁業認証 審査中漁業数

世界・・・**96件**(87件)／日本国内・・・**2件**(4件)

## ●CoC認証 取得事業者数

世界・・・**5,030件**(4,542件)

日本国内・・・**269件**(204件)

## ●MSCエコラベル付き製品数

世界・・・**40,160品目**以上(35,348品目)

日本国内・・・**870品目**(715品目)



※( )内は前年同月の数字





# ありがとうございました

このニュースレターに関する問い合わせ先

---

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

Tel: 03-5623-2845

Email: [MSCJapan@msc.org](mailto:MSCJapan@msc.org)

---

<https://www.msc.org/jp>

[www.msc.org](http://www.msc.org)